

各 位

会 社 名 株式会社オーエー・システム・プラザ  
 代 表 者 代表取締役社長 長 谷 川 泰 規  
 ( J A S D A Q ・ コード 7 4 9 1 )  
 問 い 合 わ せ 先 取締役管理本部長 兼 総務部部长  
 岡 田 晃 生  
 電 話 番 号 0 5 2 - 2 6 3 - 8 6 5 0

**特別利益の発生及び特別損失の発生  
 ならびに平成 22 年 2 月期通期の業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、平成 21 年 12 月 25 日付「子会社株式の譲渡及び IT・デジタルメディア・コンテンツ事業の廃止に関するお知らせ」で発表いたしましたとおり、同日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社ダイヤモンドエージェンシーの株式について、株式会社カンポマリノに当社が保有する全株式を譲渡することを決議し、平成 22 年 1 月 12 日付で株式譲渡が完了する予定です（以下、「本件譲渡」という。）。この度、本件譲渡に関連して発生する特別利益及び特別損失の額が下記のように確定いたしましたのでお知らせいたします。

また、特別利益及び特別損失の発生にともない、平成 21 年 10 月 2 日に発表いたしました当社「業績予想の修正に関するお知らせ」のうち、平成 22 年 2 月期（平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）通期における連結及び個別の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別利益及び特別損失の発生

(1) 特別利益

関係会社株式売却益 29 百万円（連結）  
 新株予約権戻入益 5 百万円（連結・個別）（※）

※本件譲渡の当該子会社の役職員に対して割り当てた当社ストック・オプションにつきまして、株式譲渡日時点で同社役職員の権利が喪失することから、特別利益として新株予約権戻入益を計上するものです。

(2) 特別損失

関係会社株式売却損 48 百万円（個別）

2. 平成 22 年 2 月期の連結業績予想の修正について

上記 1. 及び最近の業績を踏まえ、平成 22 年 2 月期連結業績予想を次のとおり修正します。

(1) 平成 22 年 2 月期通期連結業績予想値の修正（平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,215	7	△40	△91	△2.33
今回発表予想(B)	7,659	36	△9	△23	△0.59
増減額(B-A)	△556	28	30	68	
増減率(%)	△6.8	361.9	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 2 月期)	11,543	15	△40	△1,173	△29.95

## (2) 修正理由

売上高につきましては、平成 22 年 1 月 12 日付で譲渡予定の連結子会社「株式会社ダイヤモンドエージェンシー」をみなし譲渡として第 4 四半期会計期間（平成 21 年 12 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日）より当社グループの連結業績から外れることにより当初予想を 556 百万円下回る 7,659 百万円となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、当初の見込みに比べ PC 販売事業のサービス部門売上増加などの要因により利益面で改善したことから、営業利益 36 百万円（当初予想比：28 百万円の増加）、経常損失 9 百万円（当初予想比：30 百万円の増加）となる見込みであります。

当期純利益につきましては、子会社株式の譲渡による関係会社株式譲渡益 29 百万円の特別利益の発生等により、△23 百万円（当初予想比：68 百万円の増加）となる見込みであります。

## 3. 平成 22 年 2 月期の個別業績予想の修正について

上記 1. 及び最近の業績を踏まえ、平成 22 年 2 月期個別業績予想を次のとおり修正します。

### (1) 平成 22 年 2 月期通期個別業績予想値の修正(平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,053	83	42	25	0.66
今回発表予想(B)	6,057	112	73	11	0.29
増減額(B-A)	4	29	30	△14	
増減率(%)	0.1	35.6	71.2	△55.2	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 2 月期)	6,824	180	134	△1,035	△26.41

## (2) 修正理由

売上高につきましては、ほぼ当初の予想通りの 6,057 百万円となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、当初の見込みに比べサービス部門の売上が伸びたことなどの要因により利益面で改善したことから、営業利益 112 百万円（当初予想比：29 百万円の増加）、経常利益 73 百万円（当初予想比：30 百万円の増加）となる見込みであります。

当期純利益につきましては、子会社株式の譲渡による関係会社株式売却損 48 百万円の発生などにより、11 百万円（当初予想比：14 百万円の減少）となる見込みであります。

以 上

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来に関する前提・見通し・計画に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく変化する可能性がありますので、これら業績等の予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控え下さい。